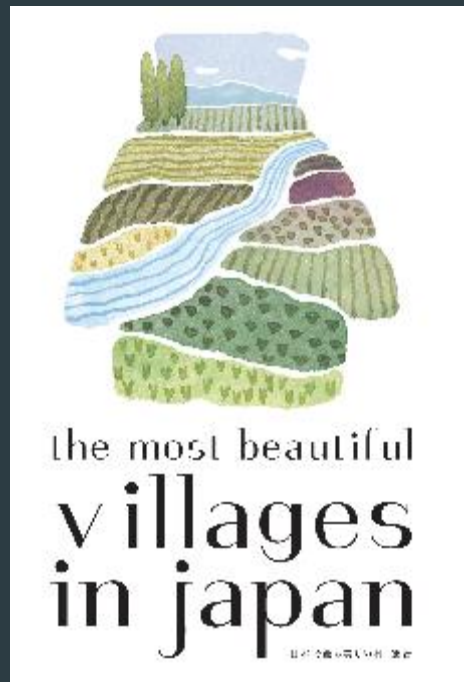


# 和束町 企業版ふるさと納税のご案内



【お問い合わせ先】

担 当 和束町まちづくり応援課

電 話 0774-78-3002

E-mail [matidukuri@town.wazuka.lg.jp](mailto:matidukuri@town.wazuka.lg.jp)

(令和7年12月時点)

# 和束町について



【石寺の茶畑】

京都府の南の端に位置しており、町の中心を和束川が東西に流れ、寒暖の差が朝霧を生み、コクのある茶葉を育みます。

和束町は、四方を山に囲まれた京都府最大のお茶の産地。くらしのすぐ隣に広がる茶畑と山なみは、独特の景観を織りなし、「**茶源郷**」と呼ばれています。



# 企業版ふるさと納税のお願い

## 和束町 の課題

- 和束町の人口は令和7年4月1日時点で3,353人であり、10年前の4,330人から千人近く減少
- 65歳以上の人口は1,667人であり、高齢化率は49.7%  
(京都府内トップクラス)

このまま人口減少、少子高齢化が進行すると...

地域のコミュニティや地域産業の衰退、担い手不足等により、  
このままでは「茶源郷 和束」が消滅の危機に！！

和束町の地方創生の取組みに対して  
企業の皆様からの寄附をお願いいたします

# 企業版ふるさと納税とは （内閣府地方創生推進事務局作成資料より抜粋）

地方公共団体の地方創生の取組に対して企業が寄附を行った場合、最大で寄附額の約 9 割が法人関係税から税額控除され、実質的な企業の負担が約 1 割まで軽減される制度です。

全国の寄附実績	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
寄附企業数	459社	1,112社	1,138社	1,117社	1,640社	3,098社	4,663社	7,680社
活用自治体数	118団体	253団体	287団体	293団体	533団体	956団体	1,276団体	1,462団体

ただし、下記の留意事項があります。

- ・ 1 回あたり 1 0 万円以上の寄附が対象になります。
- ・ 寄附を行うことの代償に経済的な利益を受けることは禁止されています。
- ・ 本社が所在する地方公共団体への寄附は、本制度の対象外になります。



# 和束町への寄附に対してのベネフィット

(下記のベネフィットは寄附を受けた見返りとしての経済的利益には該当しません)

- ▶ 10万円以上50万円未満の寄附  
➡ **礼状の送付**
- ▶ 50万円以上100万円未満の寄附  
➡ 訪問による**感謝状の贈呈**
- ▶ 100万円以上の寄附  
➡ **町有施設内で感謝状贈呈式の開催**



【茶源郷まつりでの感謝状贈呈式】

更に、寄附企業様の名称、寄附金額等については、  
**町のホームページ等に掲載**させていただきます！

※寄附企業様から辞退の申し出があった場合は除く

# 茶を軸とした働く場を創る事業 (和束町まち・ひと・しごと創生推進事業)

## <事業例>

### ● 援農者支援



### ● 和束茶ブランド化・新商品開発事業



【和束茶シロップ】



【和束茶ペットボトル】

### ● 茶業振興対策事業（業務省力化等の支援）



茶源郷和束の誇る茶業・茶畑景観をはじめとする農村文化を活かして、健康、教育、観光等と連動した新たなビジネスモデルを創出し、若者にとってやりがいのある雇用の場づくりを進める事業です。



# 交流人口を増やし定住につなげる事業(和束町まち・ひと・しごと創生推進事業)

## <事業例>

### ● 農観連携コミュニティ創生事業



【学生の農泊体験】

### ● 移住・定住促進事業



【和束スマートワークオフィス】

### ● 茶源郷和束にぎわい創出プロジェクト事業



【茶源郷まつり】

住民・行政が一体となった茶源郷和束の魅力的な資源の掘り起こしとネットワーク化、その効果的な活用・PRの推進を目指し、同時に空き家の活用等住宅供給を進め、交流人口の拡大、和束ファンの獲得とともに、定住の促進を図る事業です。



# 若い世代が安心して結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業

(和束町まち・ひと・しごと創生推進事業)

## <事業例>

### ●子育て応援給付金事業



【子育て伴走型相談支援】

### ●子どもと保護者の集いの場づくり



和束町健康福祉交流センター  
chanova (ちゃのば)

### ●異文化交流事業



【外国人の方のお茶摘み体験】

極上のお茶、豊かな自然、お互いに顔の見えるご近所付き合いといった本町ならではの環境を活かし、子どもがのびのびと育ち、また健康に家族を育む場としての茶源郷和束のイメージの構築を図り、若い世代の出産・子育てを支援する事業です。



# 安心な暮らしを守り、交通インフラの強化により日常生活範囲の拡大を図る事業

(和束町まち・ひと・しごと創生推進事業)

## <事業例>

### ●公共交通の充実



【茶源郷乗合交通ワズカー】

### ●高齢者見守りサポート事業



### ●鳥獣被害総合対策事業



〔茶畑等への食害をもたらすシカ等の捕獲檻の導入支援〕

府道宇治木屋線の整備促進や公共交通の整備等に取り組み、住民の日常生活範囲の拡大を図るとともに、多世代交流・多機能型の身近な拠点づくりや、地域防災環境の整備に取り組み、住民の安心な暮らしを守る事業です。

# 最後に、和束町長からご挨拶

和束町は京都府の南端に位置し、緑豊かな山腹に茶畑が広がる美しい景観を有する町で、宇治茶の一大生産地でもあります。

江戸時代には和束の地は化粧料として朝廷に献上され、皇室の直轄地「禁裏御料地」となって天皇家にお茶を納めてきた歴史もあり、特に高品質なお茶を生産し続けてきました。

長い時間で育まれた独自のお茶の文化や景観、自然豊かな里山の環境等を守り、しっかりと後世に引継いでいくために、本町では「和の郷 知の郷 茶源郷 和束」を掲げて各種施策に取り組んでおりますが、厳しい財政状況に加えて、顕著な少子高齢化や人口減少等の深刻な課題に直面しております。

地方創生の取り組みは待ったなしの状況の中、企業版ふるさと納税を介した温かいご支援は、本町の再生と復活に向けた大きな力と励みになります。皆様のご厚意について前向きにご検討下さいますようお願い申し上げます。



和束町長  
馬場 正実